

R7. 5. 27(金)

委員名: 尾山篤史(ピアサポーター)

第5回神奈川県障害者施策審議会障害当事者部会議議題別意見一覧

1. 団体の活動の社会への発信について

(1)「現在の団体活動で困っていること」の追加案

★神奈川県精神障害者地域移行・地域定着支援事業のピアサポーター

と

して活動していますが、事業が実施されていた19年間で、継続して

病院訪問できているのが、活動範囲内の6病院中1病院のみ。

これは、この県の素晴らしい事業が病院に周知されていない、または

評価されていないことを意味しています。

★定例会などの企画を実施するための会場確保が大変である。

(2)「今後の団体活動に必要なと思うこと」の追加案

★神奈川県精神障害者地域移行・地域定着支援事業を継続すること。

★神奈川県精神障害者地域移行・地域定着支援事業を活動範囲内の

6病院に周知させていくこと。

★神奈川県精神障害者地域移行・地域定着支援事業を活用すること

による利得を病院に提示すること。

★定例会などの企画を実施するための会場確保の支援(利用料・手続)。

2. 障がい当事者の視点から「働くこと」を考える

(1)「『働くこと』と聞いて、どんなイメージが浮かびますか?」への意見

★「働くこと」の範囲が狭い。

★「働かざる者食うべからず」という言葉に多くの精神障害者が

殺されている。

★「働きたいのに働けない」のは、障害者に対する権利侵害だという

認識が持たれていない。

(1)「働くこと」への提案

★「働く」とは「傍を楽にすること」だと思います。それができているのであれ

ば、勤務形態・勤務時間の多い少ないだけでなく、報酬が少ない・報酬

がもらえないことも、「働いている」のだと思います。

★「生きていること」への低評価に抗議いたします。たとえ「働くこと」が

できなかったとしても、「生きていること」は、ただそれだけでも素晴らしい

ことなのです。「生きている人」に、「なにもししていない」とは言わないで

ほしいです。

以上